

		D データの活用	
		学習内容	学習活動
低	1	絵や図を用いた数量の表現	
	2	簡単な表やグラフ	1・身の回りにある数量を分類整理して、一次元表やグラフに表したり、それらを読み取ったりすることができる。
中	3	データの分類整理と表	1・資料を分類整理する方法や整理結果を表にまとめる方法を理解する。 p.94-96☆4 2・資料を分類整理する方法や整理結果を表にまとめる方法を理解する。 p.96□2-☆7
		棒グラフの特徴と使い方 (内容の取り扱いに、最小目盛りが2, 5などの棒グラフや複数の棒グラフを組み合わせたグラフを追加)	3・資料を棒グラフに表すと、数量の大小が分かりやすいことや、棒グラフの読み方を理解する。 p.97-98△1 4・数量が横軸に表されている棒グラフを読み取ることができる。 p.98□2-99 5・棒グラフの書き方を理解し、棒グラフをかくことができる。 p.100 6・棒グラフの書き方を理解し、棒グラフをかくことができる。 p.101 7・目盛りのつけ方が異なる3つの棒グラフを見比べて、棒グラフについての見方や考え方を広げる。 p.102-103 8・一次元表を組み合わせた簡単な二次元表を読むことができる。 p.104
	4	二つの観点から分類する方法	6・資料を2つの観点から分類整理する方法 ・二次元表の表し方、読み取り 7・異なる観点から二次元表に表すこと 8・2つの分類項目をもつ資料を、2つの観点から分類整理する方法 ・4つの項目に分類した二次元表の読み取り
小	5	折れ線グラフの特徴と使い方 (内容の取り扱いに、複数系列のグラフや組み合わせたグラフを追加)	1・変化を表すのに折れ線グラフを用いること ・折れ線グラフの読み方とグラフの特徴や傾向の読み取り 2・折れ線の傾きと事象の変化の度合いの関係 3・折れ線グラフの表し方 ・グラフの変化の読み取り 4・波線を用いた折れ線グラフの表し方 ・グラフから未測量を推測すること 5・棒グラフと折れ線グラフを重ね合わせたグラフの読み方
		円グラフや帯グラフの特徴と使い方	1・割合の意味を理解し、比較量と基準量から割合を求めることができる。 ・百分率や歩合の意味とその表し方を理解する。 2・比較量は、基準量×割合で求められることを理解する。 ・基準量は、比較量÷割合で求められることを理解する。 3・和や差を含んだ割合の場合について、比較量を求めることができる。 4・学習内容を適用して問題を解決する。 5・帯グラフや円グラフの読み方や特徴を理解する。 ・帯グラフや円グラフのかき方を理解する。 6・グラフから、割合や絶対量を読み取り、問題を解決することができる。 ※社会科資料集などで使い方を比べてさせる。地方別の米の収穫量の割合などはどのようなグラフに表せばよいかを考えさせるなど、目的に応じて表やグラフを選び活用する活動を取り入れる。
高	6	平均の意味	1・「平均」の意味と求め方について理解する。 ・平均から全体量を求める方法を理解する。 ・値に0がある場合の平均の求め方や、分離量でも平均値は小数で表す場合があることを理解する。 2・面積、匹数が異なる場合の混み具合の比べ方を理解し、比べることができる。 3・「人口密度」の意味とその求め方を理解する。 4・単位量当たりの大きさを用いて、問題を解決できる。 ※自分の1歩の歩幅を、平均の考えを使って求め、それを使って実際に通学路などの距離や道のりを調べさせてみる。
		統計的な問題解決の方法(内容の取り扱いに、複数の帯グラフを加えることを追加)	1・日常の事象や資料を数量的に考察する場合に、割合を用いると分かりやすいといったよさや有用性を感得する。
		代表値の意味や求め方	1・代表値としての平均について理解する。 p.166-167☆1 2・代表値としての平均について理解する。 p.167☆2-168まとめ

小	高	6	度数分布を表す表やグラフの特徴と使い方	<p>3・資料の散らばりの様子を考察することができる。 p.168□2-☆7</p> <p>4・資料を度数分布表に整理する方法を理解し、読み取ることができる。 p.169</p> <p>5・資料を度数分布表に整理する方法を理解し、読み取ることができる。 p.170</p> <p>6・柱状グラフの読み方、かき方について理解する。 p.171□1-☆1</p> <p>7・柱状グラフの読み方、かき方について理解する。 p.171☆2-まとめ</p>
			目的に応じた統計的な問題解決の方法	<p>8・統計的な視点で調べて整理した表を作り、考察の仕方についての理解を深める。 p.172-173</p> <p>9・既習のグラフを組み合わせたグラフの読み方を理解する。 p.174-175</p>
			起こりうる場合	<p>1・順列について、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、その方法を理解する。 p.154-155</p> <p>2・順列について、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、その方法を理解する。 p.156-157</p> <p>3・順列について、落ちや重なりのないように調べる方法について理解を深める。 p.158</p> <p>4・組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、その方法を理解する。 p.159-160</p> <p>5・組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、その方法を理解する。</p>
中	1	ヒストグラムや相対度数の必要性と意味	<p>1・度数分布表やヒストグラム、度数分布多角形、相対度数の必要性と意味を理解する。</p> <p>2・階級の幅が異なるヒストグラムからは読み取れる傾向が異なる場合があることを理解する。</p> <p>3・度数分布やヒストグラム、度数分布多角形、相対度数を用いて、資料の傾向をとらえ説明する。</p> <p>4・代表値の必要性と意味を理解する。</p> <p>散らばりに注意して目的にあった代表値を選ぶことを理解する。</p>	
		多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味	2020年度実施のため、今後活動内容について検討していく。	
		四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味	2020年度実施のため、今後活動内容について検討していく。	
		箱ひげ図で表すこと	2020年度実施のため、今後活動内容について検討していく。	
		確率の必要性と意味	<p>1・先駆的に確率が考えられる事象について、実験を通して確率の意味を考え、確率を定義する。</p> <p>2・統計的な確率について、その意味を考える。</p>	
		確率を求めること	<p>1・同様に確からしいことの意味と確率の求め方について理解する。</p> <p>2・簡単な場合について確率を求める。</p> <p>3・確率pの値の範囲、および$p=1$、$p=0$の意味を理解する。</p> <p>4・樹形図、表などを用いて、起こりうる場合をもれや重なりがないように整理する。</p> <p>・いろいろな場合について確率を求める。</p> <p>5・確率を余事象の考えによって求める。</p> <p>6・確率の求め方について、説明する。</p>	
		標本調査の必要性と意味	<p>1・全数調査と標本調査の意味について理解する。</p> <p>2・標本調査の必要性とその意味を理解する。</p> <p>3・母集団と標本について理解する。</p> <p>4・標本調査の方法について理解する。</p>	
標本を取り出し整理すること	1・標本抽出の方法を知り、それを行うことについて理解する。			